

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07213458 A

(43) Date of publication of application: 15.08.95

(51) Int. Cl

A47K 17/02

(21) Application number: 06010359

(71) Applicant: KIRIBAI KAGAKU KK

(22) Date of filing: 01.02.94

(72) Inventor: UEKI AKIO

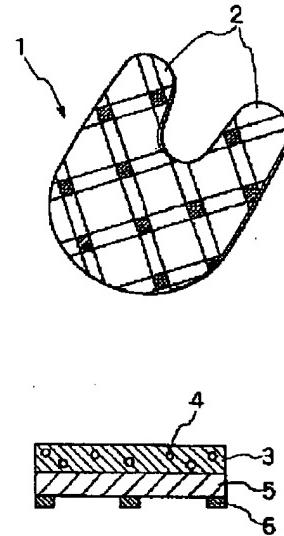
(54) THROWAWAY TOILET MAT

(57) Abstract:

PURPOSE: To form a toilet mat to be disposable, facilitate cleaning of a toilet, and use the toilet in a clean condition at all times by forming the toilet mat of a moisture absorbing or water absorbing sheet.

CONSTITUTION: A throwaway toilet mat 1 is formed of a moisture absorbing or water absorbing sheet 3 comprising nonwoven fabric, paper, or mix or lamination of both, inside which water absorbing resin 4 comprising polymer or the like, is mixed. On a bottom surface of the sheet 3, a film 5 of synthetic resin such as polyethylene, polypropylene, polyester, nylon, etc., is applied for reinforcement of the back surface and prevention of water permeation, and an adhesive layer 6 comprising ordinary adhesive material mainly comprising rubber, etc., is formed at a proper part of a surface on the opposite side of the sheet 3 of the film 5 (or coating layer) for non-slip effect. As the paper, which having water-soluble properties is used, for example.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



ABSTRACT ATTACHED

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-213458

(43)公開日 平成7年(1995)8月15日

(51)Int.Cl.⁶
A 47 K 17/02

識別記号 庁内整理番号
Z

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全4頁)

(21)出願番号

特願平6-10359

(22)出願日

平成6年(1994)2月1日

(71)出願人 593029949

桐灰化学株式会社

大阪市淀川区新高一丁目10番5号

(72)発明者 植木 章夫

大阪市淀川区新高一丁目10番5号 桐灰化
学株式会社内

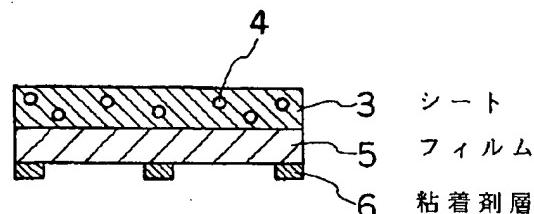
(74)代理人 弁理士 朝日奈 宗太 (外3名)

(54)【発明の名称】 使い捨てトイレマット

(57)【要約】

【目的】 トイレ掃除が簡単になりトイレを常に清潔な
状態で使用することができる。

【構成】 吸湿性または吸水性のシートからなることを
特徴とする使い捨てトイレマット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 吸湿性または吸水性のシートからなることを特徴とする使い捨てトイレマット。

【請求項2】 前記シートが不織布、紙または両者の混合物または積層体からなる請求項1記載の使い捨てトイレマット。

【請求項3】 前記シートの片面に水透過防止用コーティング層が形成されてなる請求項1または2記載の使い捨てトイレマット。

【請求項4】 前記シートの片面に水透過防止用フィルムが貼着されてなる請求項1または2記載の使い捨てトイレマット。

【請求項5】 前記コーティング層の、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなる請求項3記載の使い捨てトイレマット。

【請求項6】 前記フィルムの、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなる請求項4記載の使い捨てトイレマット。

【請求項7】 前記不織布または紙に吸水性樹脂が混入されてなる請求項2、3、4、5または6記載の使い捨てトイレマット。

【請求項8】 前記不織布または紙に適宜の模様が描かれてなる請求項2、3、4、5、6または7記載の使い捨てトイレマット。

【請求項9】 水に溶解または分散する材料からなることを特徴とする使い捨てトイレマット。

【請求項10】 表面に適宜の模様が描かれてなる請求項9記載の使い捨てトイレマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は使い捨てトイレマットに関する。さらに詳しくは、トイレ掃除が簡単になりトイレを常に清潔な状態で使用することができるタイプの使い捨てトイレマットに関する。

【0002】

【従来の技術】 トイレの床の清掃は、汚水、悪臭を伴う作業であり、不快な作業である。とくに子供やお年寄りのいる家庭はトイレがすぐ汚れるので、掃除を頻繁に行う必要があり一層大変である。

【0003】 そこで、従来より、掃除の簡便化や衛生・美化を図るために床にトイレマットを敷き、床を清潔に保つことが行われている。トイレマットは、吸水性、保水性および耐久性などの観点から通常は布製のものが採用されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、布製のトイレマットは、床を清潔に保つことができるが、定期的にトイレマット自体を洗濯しなければならず、その作業が煩わしいという欠点を有する。

【0005】 また、多数の使用者が頻繁にトイレを使用

したり、子供や年寄りが使用するばあいには、すぐにトイレマットが汚れるが、取替え用の布製トイレマットを用意しておかないと、洗濯が終わり、乾くまではマットなしでトイレを使用しなくてはならないし、また予備を用意する費用も高くつく。

【0006】 本発明はかかる問題を解消するためになされたものであり、トイレ掃除が簡単にトイレを常に清潔な状態で使用することができるタイプの使い捨てトイレマットを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明の使い捨てマットは、吸湿性または吸水性のシートからなることを特徴とするものである。

【0008】 また、前記シートが不織布、紙または両者の混合物または積層体からなるのが好ましい。

【0009】 前記シートの片面に水透過防止用コーティング層が形成されてなるのが好ましい。

【0010】 前記シートの片面に水透過防止用フィルムが貼着されてなるのが好ましい。

【0011】 前記コーティング層の、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなるのが好ましい。

【0012】 前記フィルムの、シートと反対側の表面の少なくとも一部に粘着剤層または滑り止め層が形成されてなるのが好ましい。

【0013】 前記不織布または紙に吸水性樹脂が混入されてなるのが好ましい。

【0014】 前記不織布または紙に適宜の模様が描かれてなるのが好ましい。

【0015】 水に溶解または分散する材料からなることを特徴とするものである。

【0016】 表面に適宜の模様が描かれてなるのが好ましい。

【0017】

【作用】 本発明の使い捨てトイレマットは、吸湿性または吸水性のシートからなるため、吸水性、保水性が高く、飛散された汚水などを効果的に吸収するため、トイレの床の汚れを防止することができる。

【0018】 しかも繊維材料や紙パルプなどを使用して容易に加工することができるため、比較的安価にトイレマットをうぶことができる。したがって、トイレマットが汚れたり、破損して使用困難になったばあい、そのたびに捨てて、新しいものと交換すれば、トイレを常に清潔に保つことができる。

【0019】 また、水に溶解または分散する材料からなるトイレマットは水に溶けるため、便器内に直接捨てることができる。

【0020】

【実施例】 つぎに、図面を参照しながら、本発明の使い捨てトイレマットについて詳細に説明する。図1は本発

明の使い捨てトイレマットの一実施例を示す斜視図、図2は図1の使い捨てトイレマットの断面説明図、図3は本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【0021】図1に示される使い捨てトイレマット1は、マットの前部に、便器の胴部前方にぴったりとすきまなく嵌り込むように2か所の延長部2が形成されたものである。

【0022】図1の使い捨てトイレマット1は、図2に示されるように不織布、紙または両者の混合物または積層体からなる吸湿性または吸水性シート3の内部にポリマーなどからなる吸水性樹脂4が混入され、しかも前記シート3の底面には、裏面補強および水透過防止のためにポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロンなどの合成樹脂製フィルム5が貼着されている。なお、フィルムの貼着に代えて、合成樹脂などのコーティング層を形成してもよい。

【0023】フィルム5（またはコーティング層）のシート3と反対側の表面の適宜の部分には、ゴムなどを主材とする通常の粘着性物質からなる粘着剤層6が形成されている。フィルム5は粘着剤層6を介してトイレの床に固定させるため、使用者がマットの上に載っても滑らない。この粘着剤層6の形成範囲は本発明においてとくに限定されず、マット全体であってもよいし、点状または線状に部分的であってもよい。

【0024】前記シート3は、複数の薄い不織布または紙を積層して形成されることにより、吸水性を保ちながら耐久性を1週間程度の使用に耐える程度まで高めることができる。

【0025】また、前述した不織布としてはポリプロピレン、ポリエステル、ポリエチレン、ナイロンまたはこれらとパルプとを混紡したものを用いることができ、とくに吸水性およびコストの点よりパルプとの混紡を採用するのが好ましい。

【0026】また、紙は、水溶解性のあるものなどが採用される。

【0027】また、吸水性樹脂4としては、ポリアクリル酸塩やイソブチレン-無水マレイン酸共重合物などの架橋体などが採用される。

【0028】なお、シート3そのものの吸水性が高ければ、吸水性樹脂の使用を省略することも可能である。

【0029】また、前述した実施例ではマットの裏側に粘着剤層を形成しているが、この粘着剤層に代えて、シート5の吸水層3と反対側の表面の少なくとも一部に滑り止め層を形成してもよい。このばあい、たとえば水玉模様や縞模様などの種々の模様を呈するように部分的に滑り止め層を形成してもよい。

【0030】前記滑り止め層としては、たとえばつぎのものがあげられる。

【0031】(1) シート5の素材の表面に樹脂やエラストマーの溶液または分散液、あるいはプラスチゾル

を一様にまたは模様状に塗布し、乾燥する。

【0032】樹脂やエラストマーとしては、たとえば軟質塩化ビニル系樹脂、天然ゴム、スチレン-ブタジエンゴム、イソブレンゴム、クロロプロレンゴム、ウレタンゴムなどがあげられる。

【0033】(2) シート5の素材の表面にホットメルトタイプの樹脂材料をホットメルトコーティング法により一様にまたは模様状に塗布する。

【0034】前記ホットメルトタイプの樹脂材料としては、たとえばエチレン-酢酸ビニル共重合体、エチレン-酢酸ビニル共重合体の加水分解物、エチレン-アクリル酸共重合体、エチレンアクリル酸エステル共重合体、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂などを主体とするホットメルト接着剤があげられる。

【0035】(3) シート5の素材の表面に熱溶融性樹脂を押出しラミネートする。

【0036】前記熱溶融性樹脂としては、タック性の良好なものが好ましく、たとえばエチレン-メチルメタクリレート共重合体(E MMA)などがあげられる。

【0037】(4) シート5の素材の表面に発泡性の樹脂組成物を一様にまたは模様状に塗布または含浸させ、ついで発泡させて樹脂の発泡層を形成する。

【0038】(5) シート5の素材の表面に合成樹脂性フィルムをラミネートする。

【0039】前記発泡性の樹脂組成物としては水や低沸点中性液などを発泡剤とするポリウレタン樹脂組成物があげられる。またアクリル系樹脂（たとえばビニリデンクロライド-アクリロニトリル共重合体などの熱硬化性アクリル樹脂など）などの樹脂のコアに発泡剤（イソブタンなどの揮発性溶剤）を含有させたカプセルをパインダー樹脂と混合したものがあげられ、この混合物を塗布して発泡させると、凹凸のある表面が形成できる。

【0040】前記において、各樹脂材料を模様状に塗布するにはグラビア印刷などが使用できる。

【0041】また、ホットメルト接着剤や軟質塩化ビニル樹脂などのはあい、粒状のものをシート5の表面に均一に散布したのち、熱を加えて定着せしめることによって、シート5の表面に多数の突起を形成することもできる。

【0042】以上説明したような滑り止め層をシート5の表面に形成すると、使用中にトイレマットが滑って移動してしまうことがない。

【0043】さらに、使い捨てマットの表面に、適宜の模様を描き、子供向けの柄からおしゃれな大人向けの柄まで、数種類の柄を用意しておけば、使用者好みに合わせて使い分けることもできる。

【0044】たとえば、子供向けの柄として植物、動物またはマンガのキャラクターなどを選べばよい。図3は、その一例としてウサギの顔を図案化した使い捨てトイレマット8である。

【0045】また、使い捨てトイレマットの他の例として、汚れたたびに便器に捨てて水に流すことができる水溶性や水分解性のトイレマットなどが考えられる。このような水溶性または水分解性のトイレマットは、パルプを垂直方向に並べ（絡みがない）、水に分散し易くしたシートや、パルプまたはレーヨンに水溶性のポバール系バインダーを加えたものからなるシートなどで作製することができる。

【0046】なお、これらの水溶性や水分解性のトイレマットも表面に適宜の模様が描かれているのが好みい。

【0047】

【発明の効果】本発明によれば、トイレ掃除が簡単になる

りトイレを常に清潔な状態で使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の使い捨てトイレマットの一実施例を示す斜視図である。

【図2】図1の使い捨てトイレマットの断面説明図である。

【図3】本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 使い捨てトイレマット

3 シート

5 フィルム

6 粘着剤層

8 使い捨てトイレマット

【図1】

【図2】

【図3】

